

各種研修で知識の向上を図る6次産業化事業者

普及センターでは、管内の6次産業化事業者を対象に各種研修会を開催しました。

事例研修会では、県内で餅、干し柿の製造に取り組む事業者から商品開発や販路開拓のポイントについて学びました。

また、加工施設管理研修会では、実際に施設内で専門家から問題点について指摘を受けました。研修終了後、グループ内で情報共有し、改善を進めています。



6次産業化事例研修会



加工施設管理研修会

今年輝いた人（敬称は省略させていただいております）

令和6年度 岡山県農林漁業功労者表彰

岡山県知事表彰（農産部門）井藤 孝久（哲多）
岡山県農林水産部長表彰（農産部門）
吉岡こずえ（豊永）

令和6年度 畜産功労者表彰

知事感謝状 山本日吉司（哲多）

第79回 岡山県畜産共進会

農林水産大臣賞（グランドチャンピオン）、県知事賞（優等首席）
「第509ながひさ」JA晴れの国岡山長久牧場（神郷）
県知事賞（優等首席）
「ももおかみつ」（有）哲多和牛牧場（哲多）

第17回 新見市畜産共進会

備中県民局長賞（グランドチャンピオン）
「第509ながひさ」JA晴れの国岡山長久牧場（神郷）

令和6年度 新見市花卉共進会

◎最優秀賞
新見市長賞 りんどう「ハイジラブ3」田邊 薫明（神郷）
◎優秀賞
備中県民局長賞 りんどう「しなの4号」安田 毅（哲西）
備中県民局農林水産事業部長賞
りんどう「しなの4号」岡崎 裕生（哲西）
岡山県農業協同組合中央会長賞
りんどう「しなの4号」奥山 亮（哲多）
全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞
小 菊「じゅんな」仲田 登（新見）
りんどう「しなの4号」黒笹 明（哲西）

令和6年度新見市ピオーネ共励会

◎最優秀賞
岡山県知事賞 田中 邦男（豊永）
◎優秀賞
新見市長賞 山田 憲次（草間）
備中県民局農林水産事業部長賞
常清 祥晃（豊永）
岡山県農業協同組合中央会長賞
芦澤 芳夫（豊永）
全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞
安達 正行（哲多）
岡山県農業共済組合長賞 小林 一志（豊永）

令和6年度新見市桃共励会

◎最優秀賞
新見市長賞 宮坂 要治（草間）
◎優秀賞
備中県民局長賞 藤野 進（草間）
備中県民局農林水産事業部長賞
平川 正史（草間）
農業協同組合中央会長賞 久高 幸治（草間）
全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞
谷口 章（草間）

令和6年度備中県民局地域づくり推進賞

（有）大原観光果樹園

岡山県備中県民局農林水産事業部
新見農業普及指導センター
〒718-0003 岡山県新見市高尾2400
担い手・農産班 TEL (0867) 72-9177
園芸班 TEL (0867) 72-9179
FAX (0867) 72-0495
E-mail: niimi-fukyu@pref.okayama.lg.jp

©岡山県「ももっち・うらっち」



©岡山県「うらっち」

表紙写真

左上：経営改善計画作成支援 右上：ドローンによる除草剤散布 右下：ピオーネの品質調査 左下：就農準備講座ももコース



あてつまんさく

新見の農業情報 普及だより2024年



備中県民局農林水産事業部 新見農業普及指導センター

1. 担い手確保と育成

ぶどう産地の担い手確保に向けた取組

新見市のぶどうは、ピオーネのブランドを築いてきましたが、生産量や面積が概ね維持できている一方、近年は高齢化や担い手不足により、生産者の数は減少傾向となっています。

そこで、担い手の確保状況を把握するため、部会員を対象にアンケート調査を実施しました。後継者の有無や、規模拡大・縮小の計画、園地の貸出意向などについて調査し、産地計画「新見地域ぶどう産地構造改革計画」作成の基礎資料としました。

アンケート結果では部会員の約半数は70歳以上で、その71%で後継者がいないことが分かりました。

これまで県内外の就農相談会への参加や研修事業などを活用し、ぶどうの新規就農者は毎年4名程度確保できていますが、今後も産地を支える担い手の確保育成の目標達成に向け、就農希望者の積極的な募集活動を行いつつ、受入体制強化を目的に、ほ場や住環境等の地域情報の見える化に取り組みます。

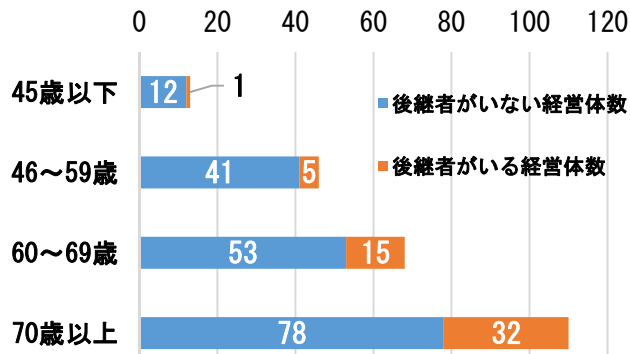


図 後継者の有無（R6アンケート結果）

表 ぶどうの新規就農者の確保状況

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
新規参入者	0	1	1	2
Uターン就農者	4	5	1	2
新規就農者（合計）	4	6	2	4

※R6年度は12月末現在の見込み数

2. 技術情報

スマート農業機械の現地研修会

新見市の水稻栽培では、省力化・軽労化技術として、ドローンやラジコン草刈機などのスマート農業機械が多く導入されています。そこで、スマート農業機械の更なる導入推進に向け、7月に新見市上熊谷でスマート農業機械の実演を含む現地研修会を開催しました。

実演は、2枚のプロペラで飛行し、2本のバッテリーで連続飛行が可能なドローン「V40」（XAG社製）と最大積載量が50kgのドローン「P100」（XAG社製）、最大傾斜45度まで刈り取り可能なラジコン草刈機「スパイダーモアRC」（オーレック社製）と畦畔専用の親子式傾斜地草刈機「ベローン」（ハスクバーナー・ゼノア社製）の4機種で行いました。

参加者15名に対して行ったアンケート結果からは「勉強になった」との感想が寄せられ、スマート農業機械導入に向けた農業者の関心を高めることができました。



アブサップ液剤（S-ABA）によるピオーネの着色向上

令和5～6年の2年にわたり、令和5年に実用化された天然型アブシシン酸を含む新剤「アブサップ液剤」による「ピオーネ」の着色等の果実品質に及ぼす効果や影響を調査しました。令和6年の7園地の実証では、園地による差はあるものの、カラーチャート示度で平均0.8の着色向上効果があり、果粉溶脱や果肉軟化などの品質低下はわずかでした（表）。2年間の実証でカラーチャート示度で1程度の着色向上効果が確認でき、品質低下についても問題無いことが分かりました。処理適期が着色始めの7月下旬頃のため、散布処理と果実袋の掛け外しにとても手間がかかりますが、温暖化対策技術として期待されています。



図 収穫果実（9月23日）

表 S－A B A処理が「ピオーネ」の果実品質に及ぼす影響（R 6）

	果粒重 （g）	果皮色 （ピオーネ用C.C.）	糖度 （° Brix）	食味 （1:不良～5:良）	果肉の硬さ （1:軟～5:硬）	脱粒難度 （1:易～5:難）	果粉溶脱 （0:無～4:多）
処 理 区	18.2	7.3	18.9	3.9	4.3	4.2	1.8
無処理区	18.3	6.5	19.0	3.8	4.5	4.4	1.2

※糖度については6園地、その他の項目は7園地の調査結果の平均値

白色マルチ敷設による「白鳳」の品質向上

新見市内では、光を反射する資材を樹冠下に敷くことで、果皮を赤く着色させ、見た目を美しく仕上げた「白鳳」が栽培されています。部会では、薄手のシルバーマルチを敷くことが多いですが、今回、新資材である厚手の白色マルチを敷き、白鳳の品質がどのようになるのかを調査しました。

その結果、着色を始め、糖度や重さといった果実品質に大きな変化はありませんでした。シルバーマルチは薄手のため経年劣化しやすく、光の反射が鈍くなったり、破けたりという欠点があります。一方で、白色マルチは厚手で、ある程度重さがあるため、風にあおられにくく、扱いが容易で、また、耐久性がありシルバーマルチよりも長持ちすると思われました。



夏秋トマトの品種検討

近年、夏秋トマトでは高温による落花や裂果による収量の低下が問題となっています。そこで裂果の発生が少なく、着果性に優れたタキイ種苗の新品種である「桃太郎みなみ」について、新見市哲多において品種特性や収量性、地域適応性を調査しました。

その結果、9月下旬から10月にかけて収穫された果実は裂果が少なく形質が良いものの、収穫全期間を通し一果重が小さく、収量が伸びにくい傾向が見られました。今後も「桃太郎みなみ」については栽培方法を検討するとともに、より新見地域に適した品種の検討をしていきます。

表 月ごとの可販収量

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	収量 (t/10a)	可販収量 (t/10a)
R6	0.1	4.7	1.2	1.6	1.8	0.4	11.7	9.9
R5	—	1.9	4.2	1.5	1.1	1.2	11.3	9.6

3. 普及活動の紹介

新見花卉部会がマーケティング活動に取り組む

新見花卉部会では、令和6年度に新規就農者2名がりんどう栽培を開始し、新選花場が稼働するなど、産地に新しい風が吹いています。しかし、資材や農薬、運賃の高騰などの課題もあります。

そこで、普及センターは、りんどうの有利販売を目的に、岡山県産地マーケティング育成・強化事業を活用して新見花卉部会のマーケティング活動を支援しました。

マーケティングの基礎研修会や各卸売市場との意見交換会、大阪鶴見花きを訪問して仲卸会社との意見交換や花束加工会社の視察研修を開催しました。これらの取り組みにより、大産地に無い90cm規格や、防虫ネット被覆による訪花昆虫対策など、卸売市場や仲卸会社が新見花卉部会のこだわりを高く評価していることや、小売店へのPRが不足していることがわかりました。

他に、新オリジナルりんどう「奥の晩風」の試験出荷や、青年農業会議所と協力して小学生と「奥の秋風」を使った「にーみん」パネルを作成、高校生花いけバトル広島大会に「奥の秋風」を提供するなど、新見オリジナルりんどうを活用した知名度向上にも取り組みました。

来年度も、SNSを活用したPRなどのマーケティング活動を支援していきます。



花束加工会社での視察研修



オリジナルりんどうで作った「にーみん」パネル

第5弾
「A 晴れの国岡山新見花卉部会
オリジナルりんどう
「奥の晩風」
この度、新見オリジナル品種の第5弾として
「奥の晩風」を初出荷致します。
よろしく願います。

特徴
○新見オリジナルの中でも一番遅く咲く
10月下旬～11月上旬
○花は大きく、葉は濃緑、茎は赤が混じる
○全体的にがっしりした印象

後継者クラブが新規就農者向け研修会を開催

新見地方新農業経営者クラブが「新見市内で農業を始めて間もない方の研修会」を開催しました。新見市内の就農5年以内の方へ知りたいことや聞きたいことを事前に尋ねてテーマを決め、講師を招いて開きました。対象者10名を含む農業者等34名が参加しました。県農林水産総合センター職員による鳥獣害の防護対策に関する講演は、獣種ごとの防護柵設置・管理の考え方について対策事例を交えた内容で、活発な質疑応答がありました。また、新見市役所からの農業関係施策・事業等に係る情報提供は、今後の経営改善の参考となるものでした。クラブ員が日頃の活動を紹介する時間も設け、新規加入促進のため、お試しでの参加を呼びかけました。



意見交換する参加者